

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和5年度への繰越分)
(施設等に対する導入支援分) 所要見込額調書

自治体名 千葉県

【基本情報】

フリガナ
法人名
フリガナ
事業所名
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)
職員数(常勤換算数)
参考情報:令和元年度から令和4年度に係るロボット等導入支援事業補助実績

【申請に当たっての確認事項】 ※4つの事項について記載内容を確認し、チェックすること。

- 導入経費の算定に当たっては、複数の業者から見積書を徴している。
ロボット等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の賃金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知する。
厚生労働省からの求めがあった場合は、ロボット等導入の効果分析や事例の公表等に対応する。
「福祉・介護職員処遇改善加算」を算定しているか、あるいは交付申請後おおむね3ヶ月以内に取得見込みである。

1. 経費計画

(1) 国庫補助対象経費の実支出(予定)額
(2) 国庫補助基本額
(3) 国庫補助所要額
(4) 主な導入機器内容(種別・機器名等)
機器の種類: 移乗介護, 排泄支援, 入浴支援, 移動支援, 見守り・コミュニケーション

機器名:

機器の特徴:

2. 事業計画

(1) 機器を導入することにしたきっかけ及び目的(複数回答可)

きっかけ: 1 理事長等、法人幹部からの提案, 2 施設長・管理者等、管理職からの提案, 3 介護職等、現場職員からの提案, 4 導入に対する補助があるため, 5 機器メーカーからの営業・提案, 6 他の施設・事業所からの推薦・口コミ, 7 その他
目的: 1 ケアの質の向上, 2 職員の精神的・肉体的負担軽減, 3 業務の効率化, 4 会議や他職種連携におけるロボットの活用, 5 職員の確保・離職防止・定着に資する取組の推進, 6 ヒヤリット・介護事故の防止, 7 その他

(2) 事業所が抱える課題

(3) ロボット機器等を導入する業務内容(概要)

(4) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入により想定される定量的指標

① 前記2(3)に係る現在(ロボット機器等導入前)の業務時間内訳

Table with columns: 業務内容, A.業務従事者数, B.ひと月当たり, C.年間発生件数(Bx12), D.1件当たりの平均処理時間(分), E.人時間(AxCxD), 1人あたり業務時間(CxD/A)

② ロボット機器等導入後の前記2(3)に係る想定業務時間内訳

Table with columns: 業務内容, A.業務従事者数, B.ひと月当たり, C.年間発生件数(Bx12), D.1件当たりの平均処理時間(分), E.人時間(AxCxD), 1人あたり業務時間(CxD/A)

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

年間業務時間数想定削減率(%)

#DIV/0!

(5) 想定削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

Blank box for recording reasons for a reduction rate exceeding 20%.

(別紙 1 - 3)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業 (令和 5 年度への繰越分)
(施設等に対する導入支援分) 所要見込額内訳書

自治体名 千葉県

【基本情報】

法人名	
事業所名	
職員数 (実数)	人
施設利用者数	人

実支出 (予定) 額: 円

機器導入費用 (合計)	初期設定に要する費用 (合計)	値引額 (合計)
-	-	

No.	導入内容	数量	単価	機器導入費用	初期設定に要する費用
1		台		0	
2		台		0	
3		台		0	
4		台		0	
5		台		0	
合計				-	-

※機器の導入経費 (購入費用及び初期設定費用) と認められない経費は対象外とする。

【対象外となる経費の例】

- ・ Wi-Fi工事等通信環境整備に要する経費
- ・ 機器の配送料
- ・ PC、タブレット及びその付属品
- ・ 工事費 (設置費は可能)

備考 <small>(特別な事情等があれば記載)</small>	
--	--

※ 本内訳書の資料として、複数の業者から徴した見積書の写し (PDFファイルに限る。) を添付すること。